

そばの高品質・収量確保には最初が肝心！

～圃場の排水対策と適期播種で安定生産を！～

◎排水対策

そばは湿害に弱い作物です。特に、播種期から出芽期までの湿害は収量減に直結します。大雨後に滞水する圃場では作付しない、心土破碎や明渠を施工するなどの排水対策を徹底しましょう。



◎耕起・施肥

そばは極端な酸性土壌では生育が阻害されるので、苦土石灰（100kg/10a）などで酸度矯正をしましょう。

耕起作業は砕土率（粒径2cm以下の土塊の割合）70%以上、耕深15cmを目標に、雑草対策を兼ねて実施しましょう。

施肥は、窒素分量を2～4kg/10aを基本とし、ほ場の肥沃度を考慮して多くなり過ぎないようにします。分枝数・開花数を確保するために、リン酸とカリは窒素より多く施用します。

| 成分名 | 窒素 (N) | リン酸 (P) | カリ (K) |
|--------|--------|---------|--------|
| kg/10a | 2～4 | 6～9 | 6～9 |

◎適期播種を徹底しましょう！

播種の適期は、平坦部は8月上旬、中山間部は7月下旬～8月上旬、山間部は7月下旬です。播種が遅れると、開花までの生育量が不足するばかりでなく、開花期そのものが遅れ、訪花昆虫の活動が活発なタイミングを逸するおそれがあります。

◎播種様式と播種量

目標苗立ち数：150本/m²

| | 特徴・方法 | 播種量（千粒重34gの場合） |
|----|---|----------------|
| 条播 | 出芽揃いが良く倒伏しにくい。収量性が高い。 条間は30cm程度にし、雑草抑制効果を狙う。 | 4～6kg/10a |
| 散播 | 簡便であるが砕土が十分でないと出芽が劣る。 均一に散布して軽く土壌に混和・覆土する。 | 5～8kg/10a |

これから暑い季節を迎えます！ 農作業中の熱中症に注意！